

加藤厚海・福嶋路・宇田忠司／著

『中小企業・スタートアップを読み解く——伝統と革新，地域と世界』（有斐閣ストゥディア）

発行所 株式会社有斐閣

2023年9月10日 初版第1刷発行

ISBN 978-4-641-15104-8

参考文献（ウェブ掲載版）

* 書籍の「参考文献」（267-284頁）に掲載しなかった文献も含めたリストです。書籍未掲載の文献は、各章末尾（書籍に掲載したリストの続き）に列挙しています（書籍未掲載の文献がない章もございます）。

序章

『INITIAL Enterprise』2023年1月31日、「2022年 Japan Startup Finance——国内スタートアップ資金調達動向決定版」（<https://initial.inc/enterprise/resources/japanstartupfinance2022>）。

青島矢一（榊原清則監修）[2022]『経営学入門』東洋経済新報社。

アストジェイ [2016]「商店街実態調査報告書」（平成27年度 中小企業庁委託調査事業，<https://www.chusho.meti.go.jp/shogyo/shogyo/2016/160322shoutengaiB.pdf>）。

入山章栄 [2012]『世界の経営学者はいま何を考えているのか——知られざるビジネスの知のフロンティア』英治出版。

植田浩史・桑原武志・本多哲夫・義永忠一・関智宏・田中幹大・林幸治 [2014]『中小企業・ベンチャー企業論——グローバルと地域のはざままで（新版）』有斐閣。

清成忠男・田中利見・港徹雄 [1996]『中小企業論——市場経済の活力と革新の担い手を考える』有斐閣。

清成忠男・中村秀一郎・平尾光司 [1971]『ベンチャー・ビジネス——頭脳を売る小さな大企業』日本経済新聞社。

黒瀬直宏 [2012]『複眼的中小企業論——中小企業は発展性と問題性の統一物』同友館。

国税庁長官官房企画課 [2018]「平成28年度分 会社標本調査 調査結果報告——税務統計から見た法人企業の実態」（<https://www.nta.go.jp/publication/statistics/kokuzeicho/kaishahyohon2016/pdf/h28.pdf>）。

後藤康雄 [2014]『中小企業のマクロ・パフォーマンス——日本経済への寄与度を解明する』日本経済新聞出版社。

関智宏編著 [2020]『よくわかる中小企業』ミネルヴァ書房。

中小企業庁「中小企業憲章」（<https://www.chusho.meti.go.jp/hourei/download/kensho.pdf>）。

中小企業庁「中小企業・小規模企業者の定義」（<https://www.chusho.meti.go.jp/soshiki/teigi.html>）。

中小企業庁「中小企業の企業数・事業所数」（https://www.chusho.meti.go.jp/koukai/chousa/chu_kigyocnt/index.htm）。

中小企業庁編 [2019]「2019年版 中小企業白書」（https://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/2019/PDF/chusho/00Hakusyo_zentai.pdf）。

中小企業庁編 [2020]「2020年版 中小企業白書」（2020年版 中小企業白書・小規模企業白書 上，https://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/2020/PDF/chusho/99Hakusyo_zentai.pdf）。

- 中小企業庁編 [2022] 「2022 年版 中小企業白書」(2022 年版 中小企業白書・小規模企業白書 上, https://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/2022/PDF/chusho/00Hakusyo_zentai.pdf)。寺岡寛 [1997] 『日本の中小企業政策』有斐閣。
- 内閣官房 [2022] 「スタートアップ育成 5 か年計画」(https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/atarashii_sihonsyugi/pdf/sdfyplan2022.pdf)。
- 中村秀一郎 [1992] 『21 世紀型中小企業』岩波書店。
- 西澤昭夫・福嶋路編著 [2005] 『大学発ベンチャー企業とクラスター戦略——日本はオースティンを作れるか』学文社。
- 日本総合研究所 [2016] 「全国の産地——平成 27 年度 産地概況調査結果」(平成 27 年度 中小企業庁委託調査, https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/10369289/www.meti.go.jp/meti_lib/report/2016fy/000075.pdf)。

第 1 章

- 上野千鶴子 [2008] 『サヨナラ, 学校化社会』筑摩書房。
- ウェーバー, M. (濱嶋朗訳) [2012] 『権力と支配』講談社。
- 桜井哲夫 [1984] 『「近代」の意味——制度としての学校・工場』日本放送出版協会。
- 柴田淳郎 [2016] 「経営と技能伝承のビジネスシステム——彦根仏壇産業の制度的叡智」加護野忠男・山田幸三編『日本のビジネスシステム——その原理と革新』有斐閣, 167-182 頁。
- 杉山慎策 [2009] 『日本ジーンズ物語——イノベーションと資源ベース理論からの競争優位性』吉備人出版。
- スコット, J. C. (清水展・日下渉・中溝和弥訳) [2017] 『実践 日々のアナキズム——世界に抗う土着の秩序の作り方』岩波書店。
- スミス, A. (高哲男訳) [2020] 『国富論——国民の富の性質と原因に関する研究 (上)』講談社。
- 高松平藏 [2008] 『ドイツの地方都市はなぜ元気なのか——小さな街の輝くクオリティ』学芸出版社。
- 竹内宏編著 [2002] 『「浜松企業」強さの秘密』東洋経済新報社。
- 田中英式 [2018] 『地域産業集積の優位性——ネットワークのメカニズムとダイナミズム』白桃書房。
- チャンドラー, A. D., Jr. (鳥羽欽一郎・小林袈裟治訳) [1979] 『経営者の時代——アメリカ産業における近代企業の成立 (上)』東洋経済新報社。
- テイラー, F. W. (有賀裕子訳) [2009] 『新訳 科学的管理法——マネジメントの原点』ダイヤモンド社。
- 富永健一 [1996] 『近代化の理論——近代化における西洋と東洋』講談社。
- ピオリ, M. J. = セーブル, C. F. (山之内靖・永易浩一・菅山あつみ訳) [2016] 『第二の産業分水嶺』筑摩書房。
- 宮嶋勲 [2018] 『最後はなぜかうまくいくイタリア人』日本経済新聞出版社。
- 柳宗悦 [1985] 『手仕事の日本』岩波書店。
- (以下, 書籍未掲載)
- 倉敷市 [2019] 「倉敷市児島 The Capital of Japanese Jeans——国産ジーンズ発祥の地」(<https://www.youtube.com/watch?v=n1dxaurIJYg>)。
- 中小企業庁編 [2019] 「2019 年版 中小企業白書」(https://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/2019/PDF/chusho/00Hakusyo_zentai.pdf)。
- 福井県眼鏡協会 [2017] 「福井・鯖江 めがね 完全版」(<https://www.youtube.com/watch?v=qHMXr>)。

7wR0gk)。

第2章

- Berrone, P., Cruz, C., and Gomez-Mejia, L. R. [2012] “Socioemotional wealth in family firms: Theoretical dimensions, assessment approaches, and agenda for future research,” *Family Business Review*, vol. 25, no. 3, pp. 258-279.
- Cennamo, C., Berrone, P., Cruz, C., Gomez-Mejia, L. R. [2012] “Socioemotional wealth and proactive stakeholder engagement: Why family-controlled firms care more about their stakeholders,” *Entrepreneurship Theory and Practice*, vol. 36, no. 6, pp. 1153-1173.
- Le Breton-Miller, I., Miller, D., and Steier, L. P. [2004] “Toward an integrative model of effective FOB succession,” *Entrepreneurship Theory and Practice*, vol. 28, no. 4, pp. 305-328.
- Mehrotra, V., Morck, R. K., Shim, J., and Wiwattanakantang, Y. [2011] “Must love kill the family firm? Some exploratory evidence,” *Entrepreneurship Theory and Practice*, vol. 35, no. 6, pp. 1121-1148.
- Miller, D., Le Breton-Miller, I., and Scholnick, B. [2008] “Stewardship vs. stagnation: An empirical comparison of small family and non-family businesses,” *Journal of Management Studies*, vol. 45, no. 1, pp. 51-78.
- Tagiuri, R., and Davis, J. [1996] “Bivalent attributes of the family firm,” *Family Business Review*, vol. 9, no. 2, pp. 199-208.
- 『IR BANK』「和井田製作所」(<https://irbank.net/E01511>)。
- 入江敦彦 [2002] 『やっぱり京都人だけが知っている』 洋泉社。
- 入山章榮・山野井順一 [2014] 「世界の同族企業研究の潮流」『組織科学』第48巻第1号, 25-37頁。
- 小野田鶴・日経トップリーダー編集部編集・構成 [2019] 『星野佳路と考える ファミリービジネスの教科書』 日経 BP。
- 国税庁長官官房企画課 [2023] 「令和3年度分 会社標本調査 調査結果報告——税務統計から見た法人企業の実態」(<https://www.nta.go.jp/publication/statistics/kokuzeicho/kaishahyohon2021/pdf/R03.pdf>)。
- 城山三郎 [1994] 『わしの眼は十年先が見える——大原孫三郎の生涯』 飛鳥新社。
- 関満博 [2017] 『日本の中小企業——少子高齢化時代の起業・経営・承継』 中央公論新社。
- 中小企業庁「経営者保証」(<https://www.chusho.meti.go.jp/kinyu/keieihosyou/>)。
- 中小企業庁編 [2014] 「2014年版 中小企業白書」(https://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/H26/PDF/h26_pdf_mokuji.html)。
- 中小企業庁編 [2019] 「2019年版 中小企業白書」(https://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/2019/PDF/chusho/00Hakusyo_zentai.pdf)。
- 中小企業庁編 [2021a] 「2021年版 中小企業白書」(2021年版 中小企業白書・小規模企業白書 上, https://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/2021/PDF/chusho/00Hakusyo_zentai.pdf)。
- 中小企業庁編 [2021b] 「2021年版 小規模企業白書」(2021年版 中小企業白書・小規模企業白書 下, https://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/2021/PDF/shokibo/00sHakusyo_zentai.pdf)。
- 帝国データバンク [2019] 「特別企画 『老舗企業』の実態調査 (2019年)」(<https://www.tdb.co.jp/report/watching/press/pdf/p190101.pdf>)。
- 帝国データバンク [2020] 「特別企画 全国企業『後継者不在率』動向調査 (2020年)」(<https://www>。

tdb.co.jp/report/watching/press/pdf/p201107.pdf)。

出島二郎 [2018] 『家業という文化装置——金沢で考えることと視えること』 美学出版。

中沢康彦 [2017] 『あの同族企業はなぜすごい』 日本経済新聞社出版社。

中村雅人 [1998] 『グッチ家・失われたブランド——イタリア名門の栄光と没落』 日本放送出版協会。
ファミリービジネス学会編 (奥村昭博・加護野忠男編著) [2016] 『日本のファミリービジネス——その
の持続性を探る』 中央経済社。

ファミリービジネス白書企画編集委員会編 (後藤俊夫監修) [2016] 『ファミリービジネス白書 2015
年版——100年経営をめざして』 同友館。

前川洋一郎 [2015] 『なぜあの会社は100年も繁盛しているのか——老舗に学ぶ持続経営の極意 20』
PHP 研究所。

三島佑一 [2016] 『船場道修町——菓・商い・学の町 (普及版)』 和泉書院。

(以下、書籍未掲載)

NHK [2006] 「ハイビジョン特集 『受け継ぐ——京都 老舗料亭の代替わり』」。

大阪読売新聞社阪神支局編 [1966] 『宮水物語——灘五郷の歴史』 中外書房。

神戸新聞社会部編 [1982] 『生一本——灘五郷 人と酒と』 神戸新聞出版センター。

酒井洋輔 [2022] 『一〇〇年生き抜く京都の老舗』 淡交社。

鮫島敦 [2005] 『これが宮内庁御用達だ——こだわりの名品 50』 日本経済新聞社。

中小企業庁編 [2017] 「2017年版 中小企業白書」 (https://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/H29/PDF/chusho/00Hakusyo_zentai.pdf)。

中小企業庁編 [2018] 「2018年版 中小企業白書」 (https://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/H30/PDF/chusho/00Hakusyo_zentai.pdf)。

中小企業庁編 [2020] 「2020年版 中小企業白書」 (2020年版 中小企業白書・小規模企業白書 上, https://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/2020/PDF/chusho/99Hakusyo_zentai.pdf)。

中沢康彦・山田宏逸・神田啓晴・津久井悠太 [2019] 「シリーズ 中小企業 本当に要らない？」 『日経
ビジネス』 (<https://business.nikkei.com/atcl/gen/19/00080/>)。

米原有二・藤田あかり [2008] 『京都老舗——暖簾のこころ』 水曜社。

第3章

Pfeffer, J., and Salancik, G. R. [2003] *The External Control of Organizations: A Resource Dependence Perspective*, (Stanford Business Classics) Stanford University Books.

Williamson, O. E. [1985] *The Economic Institutions of Capitalism: Firms, Markets, Relational Contracting*, Free Press, Collier Macmillan.

ウィリアムソン, O. E. (浅沼万里・岩崎晃訳) [1980] 『市場と企業組織』 日本評論社。

ウィリアムソン, O. E. (石田光男・山田健介訳) [2017] 『ガバナンスの機構——経済組織の学際的
研究』 ミネルヴァ書房。

コース, R. H. (宮澤健一・後藤晃・藤垣芳文訳) [2020] 『企業・市場・法』 筑摩書房。

下野由貴 [2020] 『サプライチェーンのシェアリングモデル——トヨタグループにおける付加価値の
創造と分配』 中央経済社。

武石彰・野呂義久 [2017] 「日本の自動車産業における系列取引関係の分化——新たな研究課題」 『経
済系 (関東学院大学経済学会研究論集)』 第270集, 13-28頁。

『日本経済新聞』 2022年3月17日, 18面「中小『職人の技』 データ化——艶金, AIが若手指導」。

ハーシュマン, A. O. (矢野修一訳) [2005] 『離脱・発言・忠誠——企業・組織・国家における衰退への反応』 ミネルヴァ書房。

藤本隆宏 [1998] 「サプライヤー・システムの構造・機能・発生」 藤本隆宏・西口敏宏・伊藤秀史編 『リーディングス サプライヤー・システム——新しい企業間関係を創る』 有斐閣, 41-70 頁。

(以下, 書籍未掲載)

『日経産業新聞』 2001 年 5 月 11 日, 13 面 「マツダの行方 再生へ正念場 (下) 系列再編 見えぬ戦略——強化育成か切り捨てか」。

『日経産業新聞』 2005 年 6 月 1 日, 14 面 「検証 マツダ再生の 10 年——フォード式との狭間で (3) 部品調達『和洋折衷』で」。

『日本経済新聞』 2009 年 4 月 28 日地方経済面 (茨城), 41 面 「企業城下町のいま (1) 日立市・ひたちなか市——日立赤字の衝撃 (北関東景気の行方)」

『日本経済新聞』 2009 年 5 月 8 日地方経済面 (群馬), 43 面 「企業城下町のいま (3) 群馬県大泉町・太田市 (北関東景気の行方)」

『日本経済新聞』 2012 年 3 月 29 日地方経済面 (近畿 B), 10 面 「パネルベイ失地回復なるか (上) 急失速, 下請け組織崩す——増す海外調達, 地元懸念」。

『日本経済新聞』 2013 年 4 月 19 日 (名古屋), 21 面 「ソニー城下町 苦悩深く——美濃加茂工場閉鎖 影響ずしり」。

第 4 章

Adler, P. S., and Kwon, S.-W. [2002] “Social capital: Prospects for a new concept,” *Academy of Management Review*, vol. 27, no. 1, pp. 17-40.

Granovetter, M. S. [1973] “The strength of weak ties,” *American Journal of Sociology*, vol. 78, no. 6, pp. 1360-1380.

March, J. G. [1991] “Exploration and exploitation in organizational learning,” *Organization Science*, vol. 2, no. 1, pp. 71-87.

『Forbes JAPAN』 2021 年 9 月 24 日, 「30 歳『どん底』からの転換。ニットの常識を変えた佐藤繊維 4 代目の転機」 (<https://forbesjapan.com/articles/detail/43344>)。

稲葉陽二 [2011] 『ソーシャル・キャピタル入門——孤立から絆へ』 中央公論新社。

入山章栄 [2019] 『世界標準の経営理論』 ダイヤモンド社。

加藤厚海 [2009] 『需要変動と産業集積の力学——仲間型取引ネットワークの研究』 白桃書房。

加藤厚海 [2016] 「連携のネットワーク——仲間型取引ネットワークと起業家」 加護野忠男・山田幸三編 『日本のビジネスシステム——その原理と革新』 有斐閣, 126-147 頁。

グラノヴェッター, M. (渡辺深訳) [1998] 『転職——ネットワークとキャリアの研究』 ミネルヴァ書房。

佐藤正樹 [2016] 「『今, 売れているもの』を追わず 世界が認めた『独創の糸』」 『月刊 事業構想』 (<https://www.projectdesign.jp/201606/overseas-expansion/002901.php>)。

谷山太郎 [2014] 「海外市場進出を契機とする本国事業の成長可能性——株式会社佐藤繊維をケースに」 『赤門マネジメント・レビュー』 第 13 巻第 2 号, 53-76 頁。

パットナム, R. D. (河田潤一訳) [2001] 『哲学する民主主義——伝統と革新の市民的構造』 NTT 出版。

ベスター, T. (和波雅子・福岡伸一訳) [2007] 『築地』 木楽舎。

村田吉弘 [2002] 『京都人は変わらない』 光文社。

森元伸枝 [2009] 『洋菓子の経営学——「神戸スイーツ」に学ぶ地場産業育成の戦略』 プレジデント社。

(以下, 書籍未掲載)

中澤圭二 [2007] 『鮎屋の人間力』 文藝春秋。

第5章

Arthur, M. B. [1994] “The boundaryless career: A new perspective for organizational inquiry,” *Journal of Organizational Behavior*, vol. 15, no. 4, pp. 295-306.

Black, J., Hashimzade, N., and Myles, G. [2017] *A Dictionary of Economics (5th ed.)*, Oxford University Press.

Blanchflower, D. G., and Oswald, A. J. [1998] “What makes an entrepreneur,” *Journal of Labor Economics*, vol. 16, no. 1, pp. 26-60.

Busenitz, L. W., and Barney, J. B. [1997] “Differences between entrepreneurs and managers in large organizations: Biases and heuristics in strategic decision-making,” *Journal of Business Venturing*, vol. 12, no. 1, pp. 9-30.

Busenitz, L. W., Plummer, L. A., Klotz, A. C., Shahzad, A., and Rhoads, K. [2014] “Entrepreneurship research (1985-2009) and the emergence of opportunities,” *Entrepreneurship Theory and Practice*, vol. 38, no. 5, pp. 981-1000.

Colman, A. M. [2015] *A Dictionary of Psychology (4th ed.)*, Oxford University Press.

Davidsson, P. [2016] *Researching Entrepreneurship: Conceptualization and Design (2nd ed.)*, Springer.

Davidsson, P., and Honig, B. [2003] “The role of social and human capital among nascent entrepreneurs,” *Journal of Business Venturing*, vol. 18, no. 3, pp. 301-331.

Defillippi, R. J., and Arthur, M. B. [1994] “The boundaryless career: A competency-based perspective,” *Journal of Organizational Behavior*, vol. 15, no. 4, pp. 307-324.

Gartner, W. B. [1988] “‘Who is an entrepreneur?’ is the wrong question,” *American Journal of Small Business*, vol. 12, no. 4, pp. 11-32.

Gedeon, S. [2010] “What is entrepreneurship?” *Entrepreneurial Practice Review*, vol. 1, no. 3, pp. 16-35.

Gorgievski, M. J., and Stephan, U. [2016] “Advancing the psychology of entrepreneurship: A review of the psychological literature and an introduction,” *Applied Psychology: An International Review*, vol. 65, no. 3, pp. 437-468.

Hébert, R. F., and Link, A. N. [1989] “In search of the meaning of entrepreneurship,” *Small Business Economics*, vol. 1, no. 1, pp. 39-49.

McMullen, J. S., and Shepherd, D. A. [2006] “Entrepreneurial action and the role of uncertainty in the theory of the entrepreneur,” *Academy of Management Review*, vol. 31, no. 1, pp. 132-152.

Miller, D., Le Breton-Miller, I., and Lester, R. H. [2011] “Family and lone founder ownership and strategic behaviour: Social context, identity, and institutional logics,” *Journal of Management Studies*, vol. 48, no. 1, pp. 1-25.

Morris, M., Schindehutte, M., and Allen, J. [2005] “The entrepreneur’s business model: Toward a

- unified perspective,” *Journal of Business Research*, vol. 58, no. 6, pp. 726-735.
- Murnieks, C. Y., Mosakowski, E., and Cardon, M. S. [2014] “Pathways of passion: Identity centrality, passion, and behavior among entrepreneurs,” *Journal of Management*, vol. 40, no. 6, pp. 1583-1606.
- Portes, A., Haller, W. J., and Guarnizo, L. E. [2002] “Transnational entrepreneurs: An alternative form of immigrant economic adaptation,” *American Sociological Review*, vol. 67, no. 2, pp. 278-298.
- Reuf, M., Aldrich, H. E., and Carter, N. M. [2003] “The structure of founding teams: Homophily, strong ties, and isolation among U.S. entrepreneurs,” *American Sociological Review*, vol. 68, no. 2, pp. 195-222.
- Ripsas, S. [1998] “Towards an interdisciplinary theory of entrepreneurship,” *Small Business Economics*, vol. 10, no. 2, pp. 103-115.
- Scott, J., ed. [2014] *A Dictionary of Sociology (4th ed.)*, Oxford University Press.
- Segal, G., Borgia, D., and Schoenfeld, J. [2005] “The motivation to become an entrepreneur,” *International Journal of Entrepreneurial Behavior & Research*, vol. 11, no. 1, pp. 42-57.
- Shane, S. [2009] “Why encouraging more people to become entrepreneurs is bad public policy,” *Small Business Economics*, vol. 33, no. 2, pp. 141-149.
- Stuart, T. E., and Ding, W. W. [2006] “When do scientists become entrepreneurs? The social structural antecedents of commercial activity in the academic life sciences,” *American Journal of Sociology*, vol. 112, no. 1, pp. 97-144.
- Ucbasaran, D., Westhead, P., and Wright, M. [2008] “Opportunity identification and pursuit: Does an entrepreneur’s human capita matter?” *Small Business Economics*, vol. 30, no. 2, pp. 153-173.
- Webb, J. W., Bruton, G. D., Tihanyi, L., and Ireland, R. D. [2013] “Research on entrepreneurship in the informal economy: Framing a research agenda,” *Journal of Business Venturing*, vol. 28, no. 5, pp. 598-614.
- Zhao, H., and Seibert, S. E. [2006] “The big five personality dimensions and entrepreneurial status: A meta-analytical review,” *Journal of Applied Psychology*, vol. 91, no. 2, pp. 259-271.
- 宇田忠司 [2007] 「境界のないキャリア概念の展開と課題」『経済学研究』（北海道大学）第 57 巻第 1 号，63-84 頁。
- 宇田忠司 [2009] 「フリーランスの言説スペクトル——英雄・騎士・従僕」『経済学研究』（北海道大学）第 59 巻第 3 号，215-224 頁。
- 宇田忠司 [2013] 「フリーランス・クリエイターのキャリア戦略とコンテンツ産業の構造」金井壽宏・鈴木竜太編著『日本のキャリア研究——専門技能とキャリア・デザイン』白桃書房，167-193 頁。
- 学情・パーソン総合研究所 [2018] 「兼業・副業による人材の受け入れニーズ調査報告書」（平成 30 年度 関東経済産業局における地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業，https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/jinzai/data/kengyo_hukugyo_chosa_houkokusho.pdf）。
- 栗田啓子 [1986] 「J・B. セイの企業者概念——革新者の出現」『商学討究』第 36 巻第 3 号，163-189 頁。
- 厚生労働省 [2018] 「副業・兼業の促進に関するガイドライン」（<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seis>

- akujouhou-11200000-Roudoukijunkyoku/0000192844.pdf)。
- 斎藤 稔 [2004] 『社会起業家——社会責任ビジネスの新しい潮流』 岩波書店。
- シェーン, S. A. (谷口 功一・中野 剛志・柴山 桂太訳) [2011] 『〈起業〉という幻想——アメリカン・ドリームの現実』 白水社。
- シュムペーター, J. A. (塩野 谷祐一・中山 伊知郎・東畑 精一訳) [1977] 『経済発展の理論——企業者利潤・資本・信用・利子および景気の回転に関する一研究 (上)』 岩波書店 (原著 [第 2 版]: Duncker und Humblot, 1926 年)。
- 総務省統計局 [1988] 「昭和 62 年 就業構造基本調査の結果」 (<https://www.stat.go.jp/data/shugyou/1987/index.htm>)。
- 総務省統計局 [1993] 「平成 4 年 就業構造基本調査の結果」 (<https://www.stat.go.jp/data/shugyou/1992/index.htm>)。
- 総務省統計局 [1998] 「平成 9 年 就業構造基本調査の結果」 (<https://www.stat.go.jp/data/shugyou/1997/index.htm>)。
- 総務省統計局 [2003] 「平成 14 年 就業構造基本調査の結果」 (<https://www.stat.go.jp/data/shugyou/2002/index.htm>)。
- 総務省統計局 [2008] 「平成 19 年 就業構造基本調査の結果」 (<https://www.stat.go.jp/data/shugyou/2007/>)。
- 総務省統計局 [2013] 「平成 24 年 就業構造基本調査の結果」 (<https://www.stat.go.jp/data/shugyou/2012/>)。
- 総務省統計局 [2018] 「平成 29 年 就業構造基本調査の結果」 (<https://www.stat.go.jp/data/shugyou/2017/index2.html>)。
- 総務省・経済産業省 [2018] 「平成 28 年 経済センサス - 活動調査 (確報) 産業横断的集計 結果の概要」 (https://www.stat.go.jp/data/e-census/2016/kekka/pdf/k_gaiyo.pdf)。
- 高橋 勲徳 [2008] 『企業家の社会的構成——起業を介した組織／集団の再生産と企業家精神』 滋賀大学経済学部。
- 竹原 あき子・森山 明子監修 [2003] 『カラー版 日本デザイン史』 美術出版社。
- 中小企業庁編 [2017] 「2017 年版 中小企業白書」 (https://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/H29/PDF/chusho/00Hakusyo_zentai.pdf)。
- 中小企業庁編 [2021] 「2021 年版 中小企業白書」 (2021 年版 中小企業白書・小規模企業白書 上, https://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/2021/PDF/chusho/00Hakusyo_zentai.pdf)。
- 日本政策金融公庫総合研究所 [2017a] 『『起業と起業意識に関する調査』——アンケート結果の概要』 (https://www.jfc.go.jp/n/findings/pdf/kigyoushiki_170126_1.pdf)。
- 日本政策金融公庫総合研究所 [2017b] 『『起業と起業意識に関する調査』——アンケート結果の概要』 (https://www.jfc.go.jp/n/findings/pdf/kigyoushiki_171221_1.pdf)。
- 日本政策金融公庫総合研究所 [2019] 『『起業と起業意識に関する調査』——アンケート結果の概要』 (https://www.jfc.go.jp/n/findings/pdf/topics_190117_1.pdf)。
- 根井 雅弘 [2016] 『企業家精神とは何か——シュンペーターを超えて』 平凡社。
- バイグレイブ, W. = ザカラキス, A. (高橋 徳行・田代 泰久・鈴木 正明訳) [2009] 『アントレプレナーシップ』 日経 BP 社。
- 平野 哲也 [2020] 「アントレプレナーシップの概念の方法学——多様性と価値をめぐる方法論的探究」 『日本政策金融公庫論集』 第 46 号, 69-92 頁。

プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会 [2020]「フリーランス白書 2020」(https://blog.freelance-jp.org/wp-content/uploads/2020/06/2020_0612_hakusho.pdf)。

マイナビ [2020]「『マイナビ学生の窓口』、大学生が選ぶトレンドアワード 2020 を発表！」(https://www.mynavi.jp/news/2020/12/post_29240.html)。

ランドルフ, M. (月谷真紀訳) [2020]『不可能を可能にせよ！——NETFLIX 成功の流儀』サンマーク出版。

ワッサーマン, N. (小川育男訳) [2014]『起業家はどこで選択を誤るのか——スタートアップが必ず陥る 9 つのジレンマ』英治出版。

(以下, 書籍未掲載)

『Career50』2018年12月12日,「製薬会社で身に着けたノウハウで地元を盛り上げる——本当にあった副業のハナシ (1)」(<https://career50.jp/column/1576/>)。

DeNA「働く環境」(<https://dena.com/jp/recruit/environment/>)。

hanaravi (<https://www.hanaravi.jp/>)。

IHI「キャリア形成支援制度」(<https://www.ihico.jp/recruit/ihicareerdevelopment/support/>)。

ILO 駐日事務所 [2015]「ILO の新基準を用いてインフォーマル経済の罟から抜け出す方法」(https://www.ilo.org/tokyo/information/pr/WCMS_387759/lang--ja/index.htm)。

Linkedin (<https://jp.linkedin.com/in/%E6%A0%84%E4%BD%9C-%E5%90%84%E5%8B%99-0b0612225>)。

NTT 西日本「働き方改革」(<https://www.ntt-west.co.jp/diversity/worklife/>)。

エフワイアグリ (<https://fyagri.jp>)。

カゴメ「従業員の能力やモチベーションの維持・向上」(<https://www.kagome.co.jp/company/csr/employee/motivation/>)。

キリングループ (<https://www.kirin.co.jp>)。

キリンホールディングス [2021]「『働きがい』改革 KIRIN Work Style 3.0』の取り組みについて」(https://www.kirinholdings.com/jp/newsroom/release/2021/0304_02.pdf)。

『コトバンク』(<https://kotobank.jp>)。

コニカミノルタ [2018]「イノベーション創出のための兼業・副業解禁, ジョブ・リターン制度導入」(<https://www.konicaminolta.com/jp-ja/newsroom/2018/0105-01-01.html>)。

新生銀行「働き方」(<https://www.sbshinseibank-recruit.com/workstyle/index.html>)。

双日「双日プロフェッショナルシェア」(<https://www.sojitz.com/jinzai/jp/challenge/sps/>)。

ソフトバンク「スマートワークスタイルの推進」(<https://www.softbank.jp/corp/philosophy/human-resource/workstyle/>)。

大日本印刷「DNP でのキャリアデザイン」(<https://www.dnp.co.jp/recruit/newgraduates/careerdesign/>)。

高島屋「働き方改革推進」(<https://www.takashimaya.co.jp/corp/csr/employee/workplace.html>)。

東京海上日動火災 [2021]「社員の挑戦を支える『社外副業』の効果的な活用へ」(https://www.tokio-marine-nichido.co.jp/company/release/pdf/210106_01.pdf)。

『豊洲市場ドットコム』「1枚1枚職人が焼き上げる まんでんや 国産 手焼き鰻蒲焼」(<https://www.tsukijiichiba.com/user/collection/909>)。

『日経産業新聞』2016年6月15日, 19面。

『日経産業新聞』2018年9月25日, 1面。

『日経産業新聞』2022年4月21日, 1面。

『日本経済新聞』2019年6月3日夕刊(大阪), 29面。

『日本経済新聞』2019年7月4日地方経済面(九州), 13面。

『日本経済新聞』2020年11月24日, 9面。

日本経済団体連合会 [2019] 「定例記者会見における中西会長発言要旨」 (<https://www.keidanren.or.jp/speech/kaiken/2019/0507.html>)。

日本経済団体連合会 [2021] 「副業・兼業の促進——働き方改革フェーズ II とエンゲージメント向上を目指して」 (https://www.keidanren.or.jp/policy/2021/090_honbun.pdf)。

『日本全国お取り寄せ手帖』2022年6月8日, 「急速冷却冷凍で旨みを逃さない! 手焼き蒲焼『うな一』 味の違いを楽しむ『ひつま武士どん』 せいろ蒸し『うな丸』」 (<https://www.otoriyosetech.co.jp/gourmet/25408/>)。

パナソニックホールディングス [2022] 「パナソニック オートモーティブシステムズが働き方制度を改定——フルリモート勤務や社外副業など、柔軟な働き方を選択できるように」 (<https://news.panasonic.com/jp/topics/204859>)。

富士通 [2021] 「一人ひとりの Well-being に向き合う DX 企業としての働き方へ『Work Life Shift』の進化」 (<https://pr.fujitsu.com/jp/news/2021/10/6.html>)。

みずほフィナンシャルグループ「多様な挑戦機会」 (https://www.mizuho-fg.co.jp/saiyou/strategy/hr_strategy/index.html)。

三井化学「人材マネジメント」 (<https://jp.mitsuichemicals.com/jp/sustainability/society/employee/environment.htm>)。

三菱地所 [2019] 「オープンイノベーションを促進する、柔軟な働き方の実現に向けて 副業の解禁及び一部事業における副業・兼業人材の公募実施を決定」 (https://www.mec.co.jp/news/archives/mec191001_kaikin.pdf)。

ユニ・チャーム [2018] 「社員のさらなる成長を支援する『副業制度』の導入」 (https://www.unicharm.co.jp/ja/company/news/2018/1208261_12986.html)。

ライオン「人材開発」 (<https://www.lion.co.jp/ja/sustainability/employee/development/>)。

リクルート「副業・兼業」 (<https://www.recruit.co.jp/blog/sidejob/>)。

ロート製薬 (<https://www.rohto.co.jp>)。

第6章

Ajzen, I., and Madden, T. J. [1986] “Prediction of goal-directed behavior: Attitudes, intentions, and perceived behavioral control,” *Journal of Experimental Social Psychology*, vol. 22, no. 5, pp. 453-474.

Argote, L., and Miron-Spektor, E. [2011] “Organizational learning: From experience to knowledge,” *Organization Science*, vol. 22, no. 5, pp. 1123-1137.

Brieger, S. A., De Clercq, D., and Meynhardt, T. [2021] “Doing good, feeling good? Entrepreneurs’ social value creation beliefs and work-related well-being,” *Journal of Business Ethics*, vol. 172, no. 4, pp. 707-725.

Busenitz, L. W., Plummer, L. A., Klotz, A. C., Shahzad, A., and Rhoads, K. [2014] “Entrepreneurship research (1985-2009) and the emergence of opportunities,” *Entrepreneurship Theory and Practice*, vol. 38, no. 5, pp. 981-1000.

- Garud, R., Gehman, J., and Giuliani, A. P. [2014] “Contextualizing entrepreneurial innovation: A narrative perspective,” *Research Policy*, vol. 43, no. 7, pp. 1177-1188.
- George, N. M., Parida, V., Lahti, T., and Wincent, J. [2016] “A systematic literature review of entrepreneurial opportunity recognition: Insights on influencing factors,” *International Entrepreneurship and Management Journal*, vol. 12, no. 2, pp. 309-350.
- Grégoire, D. A., Corbett, A. C., and McMullen, J. S. [2011] “The cognitive perspective in entrepreneurship: An agenda for future research,” *Journal of Management Studies*, vol. 48, no. 6, pp. 1443-1477.
- Holyoak, K. J. [2012] “Analogy and relational reasoning,” in K. J. Holyoak and R. G. Morrison eds., *The Oxford Handbook of Thinking and Reasoning*, Oxford University Press, pp. 234-259.
- Jarvis, L. C. [2016] “Identification, intentions and entrepreneurial opportunities: An integrative process model,” *International Journal of Entrepreneurial Behavior & Research*, vol. 22, no. 2, pp. 182-198.
- Krueger, N. F. [1993] “The impact of prior entrepreneurial exposure on perceptions of new venture feasibility and desirability,” *Entrepreneurship Theory and Practice*, vol. 18, no. 1, pp. 5-21.
- Krueger, N. F., and Carsrud, A. L. [1993] “Entrepreneurial intentions: Applying the theory of planned behaviour,” *Entrepreneurship & Regional Development*, vol. 5, no. 4, pp. 315-330.
- Levinthal, D., and Rerup, C. [2006] “Crossing an apparent chasm: Bridging mindful and less-mindful perspectives on organizational learning,” *Organization Science*, vol. 17, no. 4, pp. 502-513.
- Maine, E., Soh, P.-H., and Santos, N. D. [2015] “The role of entrepreneurial decision-making in opportunity creation and recognition,” *Technovation*, vol. 39-40, pp. 53-72.
- Marshall, D. R., Meek, W. R., Swab, R. G., and Markin, E. [2020] “Access to resources and entrepreneurial well-being: A self-efficacy approach,” *Journal of Business Research*, vol. 120, pp. 203-212.
- Nergui, E., and Uda, T. [2020] “Theoretical study on entrepreneurial intention and behavior,” Discussion Paper Series A, Faculty of Economics and Business, Hokkaido University, no. 345.
- Parasuraman, S., Purohit, Y. S., and Godshalk, V. M. [1996] “Work and family variables, entrepreneurial career success, and psychological well-being,” *Journal of Vocational Behavior*, vol. 48, no. 3, pp. 275-300.
- Read, S., Dew, N., Sarasvathy, S. D., Song, M., and Wiltbank, R. [2009] “Marketing under uncertainty: The logic of an effectual approach,” *Journal of Marketing*, vol. 73, no. 3, pp. 1-18.
- Ryff, C. D. [2019] “Entrepreneurship and eudaimonic well-being: Five venues for new science,” *Journal of Business Venturing*, vol. 34, no. 4, pp. 646-663.
- Sánchez-García, J. C., Vargas-Morúa, G., and Hernández-Sánchez, B. R. [2018] “Entrepreneurs’ well-being: A bibliometric review,” *Frontiers in Psychology*, vol. 9, pp. 1-19.
- Society for Effectual Action, “What is effectuation? Effectuation 101” (https://www.effectuation.org/?page_id=207) .
- Stephan, U. [2018] “Entrepreneurs’ mental health and well-being: A review and research agenda,” *Academy of Management Perspectives*, vol. 32, no. 3, pp. 290-322.
- Tsoukas, H. [2009] “A dialogical approach to the creation of new knowledge in organizations,”

- Organization Science*, vol. 20, no. 6, pp. 941-957.
- Weiss, J., Anishimova, T., and Shirokova, G. [2019] “The translation of entrepreneurial intention into start-up behaviour: The moderating role of regional social capital,” *International Small Business Journal: Researching Entrepreneurship*, vol. 37, no. 5, pp. 473-501.
- Welter, C., Mauer, R., and Wuebker, R. J. [2016] “Bridging behavioral models and theoretical concepts: Effectuation and bricolage in the opportunity creation framework,” *Strategic Entrepreneurship Journal*, vol. 10, no. 1, pp. 5-20.
- Wiklund, J., Nikolaev, B., and Shir, N., Foo, M.-D., and Bradley, S. [2019] “Entrepreneurship and well-being: Past, present, and future,” *Journal of Business Venturing*, vol. 34, no. 4, pp. 579-588.
- Yang, M., and Gabrielson, P. [2017] “Entrepreneurial marketing of international high-tech business-to-business new ventures: A decision-making process perspective,” *Industrial Marketing Management*, vol. 64, pp. 147-160.
- 井上裕美 [2014] 「マインドフルネスの測定——気分障害に対する第三世代の認知行動療法」『同志社政策科学研究』第 15 巻第 2 号, 141-152 頁。
- 入山章栄 [2019] 『世界標準の経営理論』ダイヤモンド社。
- 栗木契 [2017] 「デジタル・マーケティングにおける戦略直感」『国民経済雑誌』第 215 巻第 4 号, 19-33 頁。
- 小室弘毅 [2021] 「マインドフルネスと日本の身体文化——腰肚文化と骨盤呼吸法によるマインドフルネスワーク」『人間健康学研究』第 14 巻, 39-52 頁。
- サラスバシー, S. (加護野忠男監訳, 高瀬進・吉田満梨訳) [2015] 『エフェクチュエーション——市場創造の実効理論』碩学舎。
- 玉置浩伸 [2013] 「出身企業における破綻等の問題が起業家に与える影響に関する考察——2001 年以降の IPO 企業を対象として」『日本ベンチャー学会誌』第 22 巻, 27-41 頁。
- タン, C.-M. (柴田裕之訳) [2016] 『サーチ・インサイド・ユアセルフ——仕事と人生を飛躍させるグーグルのマインドフルネス実践法』英治出版。
- ハーバード・ビジネス・レビュー編集部編 (DIAMOND ハーバード・ビジネス・レビュー編集部訳) [2019] 『マインドフルネス』ダイヤモンド社。
- 林紀行 [2014] 「マインドフルネスとエビデンス」『人間福祉学研究』第 7 巻第 1 号, 63-79 頁。
- 原口誠・有川節夫 [1986] 「類推の定式化とその実現」『人工知能学会誌』第 1 巻第 1 号, 132-139 頁。
- 細谷功 [2011] 『アナロジー思考——「構造」と「関係性」を見抜く』東洋経済新報社。
- (以下, 書籍未掲載)
- Amphico (<https://www.amphico.uk/>) .
- Oxford Reference*, “theory of planned behavior” (<https://www.oxfordreference.com/view/10.1093/oi/authority.20110803103840343>) .
- AMPHICO [2023] 「AMPHICO が 100%再生可能・有害物質を一切含まない透湿防水性テキスタイル『AMPHITEX』を 2024 年に商用化」(<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000122936.html>)。
- Dawn Capital [2023] 「Dawn Capital, 100%再生可能・有害物質を一切含まない透湿防水性テキスタイル『AMPHITEX』を開発する AMPHICO へ出資」(<https://dawn-capital.vc/news/3579/>)。
- 『Fasu』2021 年 2 月 11 日, 「世界が注目するバイオミメティクスデザイナー・亀井潤に聞いた, 子供

- 時代、環境問題そして未来のこと」(https://fasu.jp/series/next_generation/jun_kamei)。
- 『FINDERS』2018年8月15日、「なにげに世界で有名な日本人——水中で呼吸ができる人工エラ『AMPHIBIO』を開発したバイオメティックス・デザイナー亀井潤氏」(<https://finders.me/articles.php?id=336>)。
- 『Forbes JAPAN』2018年8月29日、「『もし人類が水中に住むことになったら？』自然と技術を融合するデザイナーの問い #30UNDER30」(<https://forbesjapan.com/articles/detail/22755>)。
- 『Forbes JAPAN』2021年7月6日、「U30に聞く30のこと。『人工エラ』で世界から注目の亀井潤、3年間の変化を語る」(<https://forbesjapan.com/articles/detail/42151>)。
- 『Forbes JAPAN』2023年6月22日、「次世代アウトドアウェアの定番に？ 美大卒の起業家が生む新素材」(<https://forbesjapan.com/articles/detail/63821>)。
- 『Fresh Faces——アタラシイヒト』2021年11月6日、「#340 亀井潤 バイオメティックスデザイナー Amphibio LTD CEO」(https://www.bs-asahi.co.jp/fresh-faces/lineup/prg_340/)。
- GO TODAY SHAiRE SALON (<https://www.sharesalon.co.jp/>)。
- 『NewsPicks』2015年6月29日、「受験サプリの生みの親・山口文洋。自称『暑苦しい男』の生き方」(<https://newspicks.com/news/1035089/body/>)。
- 『WIRED.jp』2019年3月29日、「人工エラ、息からつくる真珠、自動振り付けスーツ——クリエイター亀井潤が作品で届ける『未来の提案』」(https://wired.jp/2019/03/29/jun_kamei/)。
- 『WORK MILL』2022年11月11日、「未来を起点にデザインし、現代社会で実行する。『人工エラ』開発の道のり——今を問い直し、新たな未来を創るデザイン #1」(<https://workmill.jp/jp/webzine/amphibio-kamei-20221111/>)。
- 大崎真澄 [2023] 「競合ひしめく“透湿防水素材”に新風——日本人が英国で創業、次世代素材スタートアップ」『DIAMOND SIGNAL』(<https://signal.diamond.jp/articles/-/1663>)。
- 環境金融研究機構 [2018] 「将来の海面上昇に備え？、手軽に装着できる『人工のエラ』登場。水生昆虫の特徴がヒントに。日本人デザイナーが開発 (CNN)」(<https://rief-jp.org/ct12/81998>)。
- クライス&カンパニー [2021] 「マーケットに支持され、ユーザーの心を動かせるのは『ロマン』と『ソロバン』を併せ持ったプロダクトだ。」(<https://www.kandc.com/eng/interview/012/>)。
- 元禄寿司「回転寿司の歴史」(<http://www.mawaru-genrokuzusi.co.jp/history/>)。
- 『コトバンク』(<https://kotobank.jp/>)。
- 『センタードット』2018年11月20日、「『エフェクチュエーション』 起業家の意思決定プロセスから探るマーケティングの未開領域 (前編)」(<https://www.hakuhodo.co.jp/magazine/52562/>)。
- 『ダイヤモンド・オンライン』2018年9月24日、「『スタディサプリ』の生みの親が語る 事業を生み出せる組織の風土と考え方」(<https://diamond.jp/articles/-/180185>)。
- タナベコンサルティンググループ [2017] 「異分野から学ぶビジネスモデルイノベーション」『FCC マネジメントレター』(https://www.tanabekeiei.co.jp/t/fcc_magazine/2017/post-179.html)。
- 日本被服工業「耐水圧・透湿性の意味は？ 耐水圧・透湿性の高い素材についても解説」(https://www.nihonhifuku.jp/columns/water_pressure_resistance/)。
- パーソルグループ「そもそも Well-being (ウェルビーイング) とはなんですか？」(<https://www.persol-group.co.jp/sustainability/well-being/about/>)。
- 『ビジネス+IT』2018年11月5日、「スタディサプリ誕生秘話、山口文洋はカリスマ講師たちをどうやって口説き落としかつたのか」(<https://www.sbbit.jp/article/cont1/35642>)。
- 堀江由利子 [2020] 「水中で呼吸可能な人工エラ『amphibio』はなぜ生まれたのか」『LEXUS NEW

S』 (https://lexus.jp/magazine/20200410/485/tec_jinkoera_amphibio.html)。『ミラック』2021年4月26日、「水中で呼吸できる『人工エラ』を通して，“人と水の未来”を描く。バイオミメティックスデザイナー／AMPHIBIO LTD 代表・亀井潤さん【インタビューシリーズ『未来をテクノロジーから考える』】」 (https://emerging-future.org/newblog/roomf2021_kamei/)。柳直樹・平井悠司・下澤楯夫・下村政嗣 [2016] 「ハニカムフィルムを用いた水中での酸素供給デバイスの開発」『表面科学』第37巻第7号, 299-303頁。山川肇 [2020] 「使い捨てプラスチック削減と拡大生産者責任 (EPR)」『循環とくらし』第9号, 70-75頁。リクルート「スタディサプリ ストーリー」 (<https://www.recruit.co.jp/service/story/studysapuri.html>)。リクルート [2021] 「『スタディサプリ』ブランドサイトを開設」 (<https://prtnews.jp/main/html/rd/p/000000369.000025184.html>)。若山満大 [2021] 「自然から学び，“遠回り”のアート思考で切り拓くもうひとつの可能性」『アマナインサイト』 (<https://insights.amana.jp/event/report/22232/>)。

第7章

Callon, M. [1986] “Some elements of a sociology of translation: Domestication of the scallops and the fishermen of St Brieuc bay,” in J. Law ed., *Power, Action and Belief: A New Sociology of Knowledge?* Routledge & Kegan Paul, pp. 196-233.

Engeström, Y. [2001] “Expansive learning at work: Toward an activity theoretical reconceptualization,” *Journal of Education and Work*, vol. 14, no. 1, pp. 133-156.

Hjorth, D., Holt, R., and Steyaert, C. [2015] “Entrepreneurship and process studies,” *International Small Business Journal: Researching Entrepreneurship*, vol. 33, no. 6, pp. 599-611.

Steyaert, C. [2007] “‘Entrepreneurship’ as a conceptual attractor? A review of process theories in 20 years of entrepreneurship studies,” *Entrepreneurship & Regional Development*, vol. 19, no. 6, pp. 453-477.

Vygotsky, L. S. (M. Cole, V. John-Steiner, S. Scribner, and E. Souberman eds.) [1978] *Mind in Society: The Development of Higher Psychological Processes*, Harvard University Press.

上野直樹・土橋臣吾編 [2006] 『科学技術実践のフィールドワーク——ハイブリッドのデザイン』せりか書房。

奥平和行 [2018] 『メルカリ——希代のスタートアップ, 野心と焦りと挑戦の5年間』日経 BP 社。

キネマ旬報社編 [2021] 『細田守とスタジオ地図の10年』キネマ旬報社。

楠見友輔 [2020] 「教材教具と子どもの主体性——ヴィゴツキーの心理学の観点から」『障害児基礎教育研究会研究紀要』第27集, 4-19頁。

国税庁長官官房企画課 [2023] 「令和3年度分 会社標本調査 調査結果報告——税務統計から見た法人企業の実態」 (<https://www.nta.go.jp/publication/statistics/kokuzeicho/kaishahyohon2021/pdf/R03.pdf>)。

総務省・経済産業省 [2018] 「平成28年 経済センサス - 活動調査 (確報) 産業横断的集計 結果の概要」 (https://www.stat.go.jp/data/e-census/2016/kekka/pdf/k_gaiyo.pdf)。

西川徹・岡野原大輔 [2020] 『Learn or Die 死ぬ気で学べ——プリファードネットワークスの挑戦』

KADOKAWA.

沼上幹 [2004] 『組織デザイン』 日本経済新聞社。

野村康 [2017] 『社会科学の考え方——認識論, リサーチ・デザイン, 手法』 名古屋大学出版会。

浜辺陽一郎 [2015] 『図解 新会社法のしくみ (第3版)』 東洋経済新報社。

半澤誠司 [2016] 『コンテンツ産業とイノベーション——テレビ・アニメ・ゲーム産業の集積』 勁草書房。

藤永保監修 [2013] 『最新 心理学事典』 平凡社。

ホルツマン, L. (茂呂雄二訳) [2014] 『遊ぶヴィゴツキー——生成の心理学へ』 新曜社。

茂呂雄二・有元典文・青山征彦・伊藤崇・香川秀太・岡部大介編 [2012] 『状況と活動の心理学——コンセプト・方法・実践』 新曜社。

山住勝広 [2014] 「拡張的学習とネットワークする主体の形成——活動理論の新しい挑戦」 『組織科学』 第48巻第2号, 50-60頁。

山住勝広 = エングストローム, Y. 編 [2008] 『ネットワークング——結び合う人間活動の創造へ』 新曜社。

吉田敬 [2021] 『社会科学の哲学入門』 勁草書房。

ワッサーマン, N. (小川育男訳) [2014] 『起業家はどこで選択を誤るのか——スタートアップが必ず陥る9つのジレンマ』 英治出版。

(以下, 書籍未掲載)

IMDb, “The billion dollar code” (<https://www.imdb.com/title/tt15392100/>) .

Preferred Networks (<https://preferred.jp/ja/>).

『Yahoo! JAPAN ファイナンス』 「ファナック (株)」 (<https://finance.yahoo.co.jp/quote/6954.T/profile>).

浅川直輝 [2019] 「死ぬ気で学ぶ, AI 開発の PFN がユニコーンになった理由」 『日経クロステック』 (<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/00589/021300003/>).

『シネマトゥデイ』 2016年10月23日, 「『バケモノの子』を生んだスタジオ地図ってどんな会社?」 (<https://www.cinematoday.jp/news/N0086922>).

『日経速報ニュースアーカイブ』 2021年12月18日 18:00.

『日経トレンドィ』 2012年9月号.

『日経エンタテインメント!』 2015年5月号.

『日経エンタテインメント!』 2015年8月号.

『日経エンタテインメント!』 2021年8月号.

日経エンタテインメント! 編 [2015] 『細田守とスタジオ地図の仕事』 日経 BP 社.

『日本経済新聞』 2013年1月31日, 13面.

日本取引所グループ (<https://www.jpx.co.jp/>).

野村証券 「TOPIX Core30」 (証券用語解説集, <https://www.nomura.co.jp/terms/english/other/A03243.html>).

ファナック (<https://www.fanuc.co.jp/index.html>).

メルカリ (<https://jp.mercari.com/>).

第8章

Cohen, S., and Hochberg, Y. V. [2014] “Accelerating startups: The seed accelerator phenomenon,”

- available at SSRN: <https://ssrn.com/abstract=2418000>.
- DiMaggio, P. J., and Powell, W. W. [1983] “The iron cage revisited: Institutional isomorphism and collective rationality in organizational fields,” *American Sociological Review*, vol. 48, no. 2, pp. 147-160.
- DiMaggio, P. J., and Powell, W. W. [1991] “Introduction,” in P. J. DiMaggio and W. W. Powell eds., *The New Institutionalism in Organizational Analysis*, University of Chicago Press, pp. 1-38.
- Hall, R. E., and Woodward, S. E. [2010] “The burden of the nondiversifiable risk of entrepreneurship,” *American Economic Review*, vol. 100, no. 3, pp. 1163-1194.
- Hsu, D. H., and Kenny, M. [2005] “Organizing venture capital: The rise and demise of American Research & Development Corporation, 1946-1973,” *Industrial and Corporate Change*, vol. 14, no. 4, pp. 579-616.
- Meyer, J. W., and Rowan, B. [1977] “Institutionalized organizations: Formal structure as myth and ceremony,” *American Journal of Sociology*, vol. 83, no. 2, pp. 340-363.
- Suchman, M. C. [1995] “Managing legitimacy: Strategic and institutional approaches,” *Academy of Management Review*, vol. 20, no. 3, pp. 571-610.
- Suddaby, R. [2010] “Challenges for institutional theory,” *Journal of Management Inquiry*, vol. 19, no. 1, pp. 14-20.
- Uda, T. [2021] “Expressing experiences of coworking spaces: Insights from social media,” in M. Orel, O. Dvouletý and V. Ratten eds., *The Flexible Workplace: Coworking and Other Modern Workplace Transformations*, Springer, pp. 173-191.
- Uda, T. [2023] “Producing the organizational space: Buddhist temples as co-working spaces,” in F.-X. de Vaujany, J. Aroles and M. Pérezts eds., *The Oxford Handbook of Phenomenologies and Organization Studies*, Oxford University Press, pp. 652-671.
- ウォール, C. [2015] 『未来をつくる起業家——日本発スタートアップの失敗と成功 20 ストーリー』クロスメディア・パブリッシング。
- 宇田忠司 [2013] 「コワーキングの概念規定と理論的展望」『経済学研究』（北海道大学）第 63 巻第 1 号, 115-125 頁。
- 宇田忠司・高橋勅徳 [2006] 「インキュベーション施設を捉える論理——メビック扇町における施設管理者と入居者の相互関係」『企業家研究』第 3 号, 28-44 頁。
- 内田浩史・郭チャリ [2019] 「日本の創業支援と創業金融の実態」RIETI Discussion Paper Series, 19-J-007。
- 大橋昭一・竹林浩志 [2008] 『ホーソン実験の研究——人間尊重的経営の源流を探る』同文館出版。
- 奥谷貴彦 [2012] 「ベンチャー企業の資金調達」大和総研リサーチレポート (<https://www.dir.co.jp/report/research/capital-mkt/securities/12030201capital-mkt.pdf>)。
- 奥村裕一「日本のビジネスインキュベーション」(http://www.tnst.org.tw/ezcatfiles/cust/img/img/20050909jp_31.pdf)。
- 小野正人 [2013] 『起業家と投資家の軌跡——アメリカにおけるベンチャーファイナンスの 200 年』中央経済社。
- 小野正人 [2015] 「アメリカの富豪と起業家——20 世紀前半における富豪の新興企業投資とその影響」『城西大学経営紀要』第 11 号, 27-44 頁。
- グプタ, U. (楡井浩一訳) [2002] 『アメリカを創ったベンチャー・キャピタリスト——夢を支えた

35人の軌跡』翔泳社。

桑田耕太郎・松嶋登・高橋勅徳編 [2015]『制度的企業家』ナカニシヤ出版。

国立国語研究所 [2007]「世論調査の概要と定着度調査の結果」(国立国語研究所報告 126「公共媒体の外来語——『外来語』言い換え提案を支える調査研究」第1章, <https://www2.ninjal.ac.jp/gairaigo/Report126/houkoku2-1.pdf>)。

小林伸生 [2019]「起業化支援政策・施設の変遷と展望」『経済学論究』第73巻第3号, 161-198頁。

佐藤郁哉・山田真茂留 [2004]『制度と文化——組織を動かす見えない力』日本経済新聞社。

サンドストロム, E. (黒川正流監訳) [1992]『仕事の場の心理学——オフィスと工場環境デザインと行動科学』西村書店。

清水勝彦 [2016]『経営学者の読み方 あなたの会社が理不尽な理由』日経 BP 社。

竹中克久 [2014]「組織における物理的環境についての社会学的アプローチ——空間, 風景, アーティファクト」『明治大学教養論集』第501号, 47-65頁。

竹林浩志 [2013]「ホーソン・リサーチ——人間関係論の形成」吉原正彦編著『メイヨー = レスリバーガー——人間関係論』文眞堂, 45-88頁。

田代智治・岸本千佳司 [2021]「エコシステムにおけるアクセラレーターの発展と重要性——定義とその特徴の体系的・包括的理解」『中小企業季報』第199・200号, 11-18頁。

丹生晃隆 [2018]「ビジネスインキュベーション施設における支援活動と成果に関する探索的研究——入居企業の満足度と支援従事者のモチベーション要因を中心に」『宮崎大学地域資源創成学部紀要』第1号, 1-18頁。

中沢潔 [2018]「米国におけるワーキングスペースの現状② (インキュベーター, アクセラレーター)」『ニューヨークだより』(情報処理推進機構, https://www.ipa.go.jp/digital/chousa/trend/2018/hj_uojm000000mbei-att/000066244.pdf)。

野村総合研究所 [2016]「平成 27 年度 ベンチャー創造支援事業 (ベンチャー企業の実態・創出等に係る調査) 報告書」経済産業省 (<https://dl.ndl.go.jp/pid/11279556>)。

バイグレイブ, W. = ザカラキス, A. (高橋徳行・田代泰久・鈴木正明訳) [2009]『アントレプレナーシップ』日経 BP 社。

ハッチ, M. J. = カンリフ, A. L. (大月博司・日野健太・山口善昭訳) [2017]『Hatch 組織論——3つのパースペクティブ』同文館出版。

ビットキー [2021]「ONLINE OFFICE TOUR #01——ビットキーが大切にしたい次世代の新しい働き方とは？」『note』(<https://note.com/bitkey/n/n8bde97d38bc1>)。

フロリダ, R. (井口典夫訳) [2009]『クリエイティブ都市論——創造性は居心地のよい場所を求める』ダイヤモンド社。

松嶋登・矢寺顕行・浦野充洋・吉野直人・貴島耕平・中原翔・桑田敬太郎・高山直 [2019]「社会物性のメタ理論」『日本情報経営学会誌』第39巻第3号, 80-117頁。

『みんなのオフィス』2022年5月16日, 「公園の芝生で業務!? こだわりと工夫が詰まった atama plus の広々オフィス!」(<https://moffice.tokyo/article/EfwVn>)。

村瀬光正 [2002]「日本のベンチャーキャピタル——進化するビジネスモデル」『フォーラム「持続可能な新産業創生のシナリオ」記録』(21世紀政策研究所, https://www.21ppi.org/storage/pdf/the_sis/011212_21.pdf)。

山崎泰央 [2004]「日本における 1970 年代『ベンチャー・ビジネス』の展開」『イノベーション・マネジメント』第1号, 139-157頁。

レヴィ, S. (仲達志・池村千秋訳) [2011] 『グーグル ネット覇者の真実——追われる立場から追う立場へ』 阪急コミュニケーションズ。

レビンソン, M. (村井章子訳) [2019] 『コンテナ物語——世界を変えたのは「箱」の発明だった (増補改訂版)』 日経 BP。

ワッサーマン, N. (小川育男訳) [2014] 『起業家はどこで選択を誤るのか——スタートアップが必ず陥る 9つのジレンマ』 英治出版。

(以下, 書籍未掲載)

Charlie Rose, 2012/11/16, “Jeff Bezos” (<https://charlierose.com/videos/17252>) .

Hathaway, I. [2016a] “Accelerating growth: Startup accelerator programs in the United States,” *Brookings* (<https://www.brookings.edu/research/accelerating-growth-startup-accelerator-programs-in-the-united-states/>) .

Hathaway, I. [2016b] “What startup accelerators really do,” *Harvard Business Review* (<http://hbr.org/2016/03/what-startup-accelerators-really-do>) .

Startup Genome [2021] “The global startup ecosystem report 2021” (<https://startupgenome.com/report/gser2021>) .

Startup Genome [2022] “Global startup ecosystem ranking 2022 (top 30 + runners-up)” (<https://startupgenome.com/article/global-startup-ecosystem-ranking-2022-top-30-plus-runners-up>) .

Statista [2022a] “Number of coworking spaces worldwide from 2018 to 2020 with a forecast to 2024” (<https://www.statista.com/statistics/554273/number-of-coworking-spaces-worldwide/>) .

Statista [2022b] “Market size of crowdfunding worldwide in 2022 and 2023 with a forecast for 2030” (<https://www.statista.com/statistics/1078273/global-crowdfunding-market-size/>) .

CAMPFIRE (<https://camp-fire.jp>).

ClipLine [2020] 『『暮らす場所に近いところにオフィスを構える』。シモキタへの縮小移転をコロナ前に決定していたヒトカrameディアさんにお話を伺いました (前編)』 『note』 (<https://note.com/clipline/n/n243551f2e9d2>)。

『FastGrow』 2020年9月23日, 「電動マイクロモビリティを当たり前。人生をかけて交通インフラの創造に挑む, ある起業家の決意」 (<https://www.fastgrow.jp/articles/luup-okai>)。

IPPO [2021] 「コロナ以降のオフィスに関するアンケート調査を実施! 働き方・働く場の選択肢が増加, 企業ごとの特徴や戦略がより顕著に」 (<https://ippooffice.co.jp/news/press/1792/>)。

Luup [2019] 「規制のサンドボックス制度のモビリティ分野における初認定を, 電動マイクロモビリティ『LUUP』の実証計画が取得」 (<https://luup.sc/news/post-0030/>)。

Luup [2020] 「電動マイクロモビリティの LUUP が累計 4 億 5 百万円の資金調達を実施」 (<https://b2b-ch.infomart.co.jp/news/detail.page?IMNEWS4=2008831>)。

TDB [2022] 「コロナで企業の『脱首都圏』急増, 過去最多の 351 社 11 年ぶり転出超過 移転先, 北海道がコロナ前から 5 倍に急増 『テレワーク』浸透背景に遠隔地への移転増加」 (<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000429.000043465.html>)。

NovolBa [2021] 「NovolBa (ノボルバ) オンラインイベント『With コロナ時代における「オフィス」の最適解とは』」 (<https://novolba.com/news/20201218-event-article/>)。

『office magazine』 2017年7月11日, 「ココナラ——6年間で7つのオフィスに移転『スタートアップで同じ場所に1年半いるなんて恥ずかしかった』 代表取締役・南章行氏インタビュー」 (<http://office-magazine.jp/2017/07/11/kokonara-6nenmde-7tsuno-ofisu-ni-suten/>)。

- ps://officee.jp/magazine/coconala/)。
- Plug and Play Japan 「スタートアップ支援」 (<https://japan.plugandplaytechcenter.com/startups/>)。
- 『TOMORUBA』2020年9月24日、「電動マイクロモビリティは日本のインフラになるのか——LUUPの挑戦」 (<https://tomoruba.eiicon.net/articles/2088>)。
- 『TOMORUBA』2022年6月7日、「2019年度アクセラレータープログラム122選」 (<https://tomoruba.eiicon.net/articles/1796>)。
- 池田将 [2016] 「ユニークな戦略で展開する、アジアの7つのスタートアップ・アクセラレーター——#ASIABEAT 2016 アモイから」 『BRIDGE』 (<https://thebridge.jp/2016/03/asiabeat-xiamen-2016-unique-startup-accelerators-in-asia>)。
- 井上エリ [2019] 「犯罪多発地区から旬なスポットに——ロンドンのペッカムが面白い」 『WWDJAPAN』 (<https://www.wwdjapan.com/articles/990589>)。
- 上原正詩 [2019] 「突出するバイエリア、ユニコーン6割集中——背後にアクセラレーター『Yコンビネーター』」 『中国・アジアウォッチ』 (日本経済研究センター, <https://www.jcer.or.jp/research-report/2019059.html>)。
- 岡村繁雄 [2015] 「孫正義から恩人へ『すべては先生との出会いから始まりました』」 『プレジデントオンライン』 (<https://president.jp/articles/-/16742>)。
- かながわサイエンスパーク (<https://www.ksp.or.jp>)。
- 『キャリアメ』 (<https://kyaritame.com/?p=84>)。
- 経済産業省「新事業特例制度の活用事例」 (https://www.meti.go.jp/policy/jigyousaisei/kyousouryoku_kyouka/shinjigyo-kaitakuseidosuishin/result/shinjigyou.html)。
- 厚生労働省 [2019] 「マッチング支援」 (第8回「雇用類似の働き方に係る論点整理等に関する検討会」資料, <https://www.mhlw.go.jp/content/11911500/000491300.pdf>)。
- ココナラ (<https://coconala.com>)。
- 佐藤譲 [2022] 「企業調査レポート ココナラ——4176 東証グロース市場」 フィスコ (<https://www.fisco.co.jp/wordpress/wp-content/uploads/FISCO/coconala20221128.pdf>)。
- 『週刊エコノミスト』2021年11月15日、「岡井大輝 Luup 代表取締役——人口減少時代に必要とされる交通インフラを」 (<https://weekly-economist.mainichi.jp/articles/20211123/se1/00m/020/066000c>)。
- 鈴木朋宏 [2022] 「LUUP——電動キックボード『規制の壁』を突破する全プラン」 『NewsPicks』 (<https://newspicks.com/news/6743155/body/>)。
- 『住友不動産のオフィス』 「渋谷インフォスタワー」 (<https://office.sumitomo-rd.co.jp/building/detail/shibuya/sibuyainfostower>)。
- 『創業手帳』2022年7月28日、「Luup 岡井大輝——電動小型モビリティのシェアリング事業で新しい公共インフラを目指す」 (https://sogyotech.jp/luup_okai/)。
- 東京中小企業投資育成「会社沿革」 (<https://www.sbic.co.jp/company/history/>)。
- 内閣官房「規制のサンドボックス制度」 (<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/s-portal/regulatorysandbox.html>)。
- 内閣官房「規制のサンドボックス制度 (新技術等実証制度) について」 (<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/s-portal/pdf/underlyinglaw/sandboximage516.pdf>)。
- 内閣官房「電動キックボードのシェアリング事業の実施に向けた走行実証」 (規制のサンドボックス

制度 認定プロジェクト等, <https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/s-portal/project/gaiyou12.pdf>。
内閣官房 [2022] 「規制のサンドボックス制度について」(報道発表「『規制のサンドボックス制度』
〔新技術等実証制度〕に基づく実証計画〔1 案件〕の認定について」資料 2, <https://www.cas.go.jp/jp/houdou/pdf/20220729shiryoyou2.pdf>)。
日本貿易振興機構 [2021] 「世界の都市別スタートアップエコシステムランキング上位 10 都市 (2021
年)」(ビジネス短信「米民間調査, 2021 年世界の都市別スタートアップ・エコシステム・ランキ
ングを公表」添付資料, https://www.jetro.go.jp/view_interface.php?blockId=32612148)。
『ビジネス+IT』2020 年 10 月 28 日, 「コロナ下のオフィスはようになる? 模様替えか, 郊外移転か,
あるいは解約か?」(<https://www.sbbbit.jp/article/cont1/41258>)。
マイクロモビリティ推進協議会 [2019] 「マイクロモビリティ推進協議会に世界最大手の Lime が加
入」([https://www.micromobility.jp/記事_4-マイクロモビリティ推進協議会に世界最大手のlime
が加入](https://www.micromobility.jp/記事_4-マイクロモビリティ推進協議会に世界最大手のlimeが加入))。
『マナミナ』2022 年 5 月 2 日, 「脱クルマ社会実現へ。いま最も注目されているスマートモビリティ
『電動キックボード』の関心層について調査」(<https://manamina.valuesccg.com/articles/1780>)。
三ツ村崇志 [2019] 「電動キックボードなど 3 社が業界初の『サンドボックス制度』実証へ。『電動』
規制緩和の模索続く」『BUSINESS INSIDER』(<https://www.businessinsider.jp/post-200836>)。
宮本恵理子 [2021] 「Luup 社長・岡井大輝 1——電動キックボードは通過点に過ぎない。『目指すは
21 世紀の JR』」『LIFE INSIDER』(<https://www.businessinsider.jp/post-244771>)。
向井瑞姫 [2022] 「オフィス移転『都市部→郊外』はどれだけ増えたのか?——コロナ禍の影響は」
『ITmedia ビジネスオンライン』([https://www.itmedia.co.jp/business/articles/2204/04/news065.
html](https://www.itmedia.co.jp/business/articles/2204/04/news065.html))。
矢野経済研究所 [2018] 「国内クラウドファンディング市場の調査を実施 (2018 年)——2017 年度
の市場規模は新規プロジェクト支援ベースで前年度比 127.5%増の 1,700 億円」([https://www.ya
no.co.jp/press-release/show/press_id/2036](https://www.yano.co.jp/press-release/show/press_id/2036))。
吉見朋子 [2022] 「プライベートからビジネスまで『知識・スキル・経験』を売り買い——スキルマ
ーケットプレイス ココナラ」『TECHBLITZ』(<https://techblitz.com/coconala/>)。

第 9 章

Bonzom, A., and Netessine, S. [2016] “#500CORPORATIONS: How the world’s biggest compa
nies deal with the startup revolution?” INSEAD ([https://cdn2.hubspot.net/hubfs/698640/
500CORPORATIONS_-_How_do_the_Worlds_Biggest_Companies_Deal_with_the_Startup_R
evolution_-_Feb_2016.pdf](https://cdn2.hubspot.net/hubfs/698640/500CORPORATIONS_-_How_do_the_Worlds_Biggest_Companies_Deal_with_the_Startup_R
evolution_-_Feb_2016.pdf)) .
CB Insights, “The complete list of unicorn companies” ([https://www.cbinsights.com/research-
unicorn-companies](https://www.cbinsights.com/research-unicorn-companies), 2022 年 9 月 3 日閲覧) .
GEM [2021] *Global Entrepreneurship Monitor 2020/2021 Global Report*, Global
Entrepreneurship Research Association, London Business School
(<https://www.gemconsortium.org/file/open?fileId=50691>) .
Stinchcombe, A. L. [1965] “Social structure and organizations,” in J. G. March ed., *Handbook of
Organizations*, Rand McNally, pp. 142-193.
『@IT』2015 年 1 月 19 日, 「ベンチャーは奇数のチームで始めるが吉——ミドリムシ培養『ユーグレ
ナ』の場合」(<https://atmarkit.itmedia.co.jp/ait/articles/1501/19/news021.html>)。

- GUESSS 日本事務局（田路則子・鹿住倫世）[2022]「GUESSS 2021 Japanese National Report（日本語版）」(https://www.guesssurvey.org/resources/nat_2021/GUESSS_Report_2021_Japan_jpe.pdf)。
- 出雲充 [2012]『僕はミドリムシで世界を救うことに決めました。——東大発バイオベンチャー「ユングレナ」のとてつもない挑戦』ダイヤモンド社。
- 清成忠男 [1984]『経済活力の源泉——日米欧ベンチャー比較』東洋経済新報社。
- 清成忠男・中村秀一郎・平尾光司 [1971]『ベンチャー・ビジネス——頭脳を売る小さな大企業』日本経済新聞社。
- 国民金融公庫調査部 [1985]『ベンチャー・ビジネス——揺籃期の金の卵たち』中小企業リサーチセンター。
- チェスブロウ, H. (大前恵一朗訳) [2004]『OPEN INNOVATION——ハーバード流イノベーション戦略のすべて』産業能率大学出版部。
- 中村秀一郎 [1985]『挑戦する中小企業』岩波書店。
- 西澤昭夫 [1998]「会社を起こす——スカイマークエアラインズ社」東北大学経営グループ『ケースに学ぶ経営学』有斐閣, 10-31 頁。
- 『日本経済新聞』2020年12月18日, 16面「新規上場 6年若返り——00年比, 設立から平均17年」。
- 『日本経済新聞』2022年12月23日, 9面「『経営者保証』来年から不要——新興向け融資に新制度」。
- 日本政策金融公庫総合研究所 [2022]「『2021年度 起業と起業意識に関する調査』——アンケート結果の概要」(https://www.jfc.go.jp/n/findings/pdf/kigyoushiki_220126_1.pdf)。
- 本庄裕司 [2021]「日本のアントレプレヌール・ファイナンス」『企業研究』第39号, 143-165頁。
- ベンチャーエンタープライズセンター編集 [2021]『ベンチャー白書 2021』ベンチャーエンタープライズセンター。
- 文部科学省科学技術・学術政策研究所 [2021]「調査資料-311 科学技術指標 2021」(<https://doi.org/10.15108/rm311>)。

第10章

- Companies Market Cap*, “Largest companies by market cap” (<https://companiesmarketcap.com/>, 2022年5月10日閲覧)。
- Zervas, G., Proserpio, D., and Byers, J. W. [2017] “The rise of the sharing economy: Estimating the impact of Airbnb on the hotel industry,” *Journal of Marketing Research*, vol. 54, no. 5, pp. 687-705.
- アイゼンマン, T. = パーカー, G. = ヴァン・アルスタイン, M. W. [2007]「ツー・サイド・プラットフォーム戦略——『市場の二面性』のダイナミズムを生かす」『DIAMOND ハーバード・ビジネス・レビュー』第32巻第6号, 68-81頁。
- ガルブレイス, J. K. (藤瀬五郎訳) [1970]『アメリカの資本主義 (改訂新版)』時事通信社。
- 川島富士雄 [2021]「中国の産業政策を読む (中) 競争政策, 巨大 IT に照準」『日本経済新聞』2021年2月18日, 27面。
- キーティング, G. (牧野洋訳) [2019]『NETFLIX コンテンツ帝国の野望——GAFA を超える最強 IT 企業』新潮社。
- ギャラガー, L. (関美和訳) [2017]『Airbnb Story——大胆なアイデアを生み, 困難を乗り越え, 超人気サービスをつくる方法』日経 BP 社。

- 『日経産業新聞』2017年4月14日, 1面「ラクスル, 印刷所のスキマお埋めします——空き設備, ITで見つけ発注, 時間も紙も余さず」。
- 『日経産業新聞』2018年11月15日, 3面「ラクスル——目指すはトラック版Uber」。
- 『日経産業新聞』2020年9月29日, 17面「米ライドシェア存続の危機——加州, 『運転手は従業員』」。
- 『日本経済新聞』2020年10月19日, 11面「手数料は安全の対価か——エピック, アプリ配信でアップル提訴」。
- 『日本経済新聞』2020年11月5日, 7面「『運転手は個人事業主』承認——ライドシェア巡り 米加州住民投票で」。
- 『日本経済新聞』2020年12月24日, 3面「中国IT大手に法の網——来年にも 統制強化, 独禁法改正へ」。
- 『日本経済新聞』2021年8月22日, 7面「単発仕事請け負うギグワーカー——保護規制緩和は『違憲』」。
- 『日本経済新聞』2022年4月24日, 3面「EU 巨大IT監督強化」。
- 根来龍之 [2017] 『新しい基本戦略 プラットフォームの教科書——超速成長ネットワーク効果の基本と応用』日経BP社。
- 丸山雅祥 [2017] 『経営の経済学 (第3版)』有斐閣。

第11章

- Agarwal, R., Echambadi, R., Franco, A. M., and Sarkar, M. B. [2004] “Knowledge transfer through inheritance: Spin-out generation, development, and survival,” *Academy of Management Journal*, vol. 47, no. 4, pp. 501-522.
- Buenstorf, G. [2007] “Opportunity spin-offs and necessity spin-offs,” *Papers on Economics and Evolution #0718*, Max Planck Institute of Economics.
- Casper, S. [2007] “How do technology clusters emerge and become sustainable? Social network formation and inter-firm mobility within the San Diego biotechnology cluster,” *Research Policy*, vol. 36, no. 4, pp. 438-455.
- Christensen, C. M. [1993] “The rigid disk drive industry: A history of commercial and technological turbulence,” *Business History Review*, vol. 67, no. 4, pp. 531-588.
- Feldman, M. P., Ozcan, S., and Reichstein, T. [2019] “Falling not far from the tree: Entrepreneurs and organizational heritage,” *Organization Science*, vol. 30, no. 2, pp. 337-360.
- Fikes, B. J. [2012] “Four biotech legends recall birth of local industry,” *San Diego Union-Tribune* (<https://www.sandiegouniontribune.com/sdut-four-biotech-legends-recall-birth-of-local-2012nov08-story.html>) .
- Fikes, B. J. [2018] “San Diego’s Hybritech still influences local biotech, 40 years later,” *Baltimore Sun (San Diego Union-Tribune)* (<https://www.baltimoresun.com/sd-me-hybritech-20180509-story.html>) .
- Klepper, S. [2002] “The capabilities of new firms and the evolution of the US automobile industry,” *Industrial and Corporate Change*, vol. 11, no. 4, pp. 645-666.
- Klepper, S. [2010] “The origin and growth of industry clusters: The making of Silicon Valley and Detroit,” *Journal of Urban Economics*, vol. 67, no. 1, pp. 15-32.
- LOW DOWN, 2014/7/5, “How the PayPal Mafia redefined Silicon Valley” (<http://www.thelo>

- wdownblog.com/2014/07/how-paypal-mafia-redefined-silicon.html) .
- 『J-CAST ニュース』2015年10月5日, 「全国に100軒はある『大勝軒』って何だ 山岸さんがのれん分けした店ばかりと思うと…」 (<https://www.j-cast.com/2015/10/05247037.html?p=all>) .
- 五十嵐伸吾 [2013] 「地域における起業促進の一類型——アルプス電気盛岡工場が醸成した起業家精神」『地域イノベーション』第5号, 89-104頁。
- 稲垣京輔 [2003] 『イタリアの起業家ネットワーク——産業集積プロセスとしてのスピノフの連鎖』白桃書房。
- 井上英子 [2001] 『仙台牛たん焼き物語』河北新報社。
- 清成忠男 [1972] 『現代中小企業の新展開——動態的中小企業論の試み』日本経済新聞社。
- 清成忠男・中村秀一郎・平尾光司 [1971] 『ベンチャー・ビジネス——頭脳を売る小さな大企業』日本経済新聞社。
- クリステンセン, C. M. (玉田俊平太監修, 伊豆原弓訳) [2001] 『イノベーションのジレンマ——技術革新が巨大企業を滅ぼすとき (増補改訂版)』翔泳社。
- 中田敦 [2012] 「シスコの不思議な成長戦略『スピニン』」『日経コンピュータ』2012年6月7日号, 10頁。
- 長山宗広 [2012] 『日本のスピノフ・ベンチャー創出論——新しい産業集積と実践コミュニティを事例とする実証研究』同友館。
- 西山里緒 [2019] 「“DeNA マフィア” 溜まり場に潜入。起業家続々輩出する“遺伝子” はなぜ生まれる」『LIFE INSIDER』 (<https://www.businessinsider.jp/post-193568>) .
- 『日経 MJ (流通新聞)』2020年12月16日, 3面 「再入社まで良縁切らさず——退職者を味方に 同窓組織『企業アルムナイ』」。
- 『日本経済新聞』2019年7月17日, 1面 「働き方進化論 さらばモノクロ職場 (1) ——出入り OK, 『出世魚』つかめ」。
- 林大樹 [1987] 「最近におけるわが国起業家のスピノフについて」『一橋大学研究年報 社会学研究』第25号, 433-499頁。
- 福嶋路・田路則子・五十嵐伸吾 [2022] 「外的圧力による同時多発的スピノフの出現とネットワークの形成——アルプス電気盛岡工場からのスピノフの事例」『企業家研究』第19号, 83-95頁。
- ヤフー [2017] 「ヤフーの卒業生のつながりをつくる『モトヤフ』」 (<https://about.yahoo.co.jp/info/blog/20170207/motoyahoojapan.html>) .

第12章

- Economist*, 2012/10/27, “Something in the air” (<https://www.economist.com/special-report/2012/10/27/something-in-the-air>) .
- Florida, R. L. [2005] *Cities and the Creative Class*, Routledge.
- Florida, R. [2019] “Maps reveal where the creative class is growing,” *Bloomberg* (<https://www.bloomberg.com/news/articles/2019-07-09/maps-reveal-where-the-creative-class-is-growing>) .
- Florida, R., Mellander, C., and Stolarick, K. [2008] “Inside the black box of regional development - human capital, the creative class and tolerance,” *Journal of Economic Geography*, vol 8, no. 5, pp. 615-649.
- Krugman, P. [1991] *Geography and Trade*, MIT Press (北村行伸・高橋亘・妹尾美起訳『脱・国境の経済学——産業立地と貿易の新理論』東洋経済新報社, 1994年) .

- Smilor, R. W., Gibson, D. V., and Kozmetsky, G. [1989] “Creating the technopolis: High-technology development in Austin, Texas,” *Journal of Business Venturing*, vol. 4, no. 1, pp. 49-67.
- Spigel, B. [2017] “The relational organization of entrepreneurial ecosystems,” *Entrepreneurship Theory and Practice*, vol. 41, no. 1, pp. 49-72.
- Spigel, B. [2020] *Entrepreneurial Ecosystems: Theory, Practice and Futures*, Edward Elgar Publishing.
- Spigel, B., and Harrison, R. [2018] “Toward a process theory of entrepreneurial ecosystems,” *Strategic Entrepreneurship Journal*, vol. 12, no. 1, pp. 151-168.
- Startup Genome [2022] “Global startup ecosystem ranking 2022 (top 30 + runners-up)” (<http://startupgenome.com/article/global-startup-ecosystem-ranking-2022-top-30-plus-runners-up>) .
- サクセニアン, AL. (大前研一訳) [1995] 『現代の二都物語——なぜシリコンバレーは復活し、ボストン・ルート 128 は沈んだか』講談社 (AL. Saxenian, *Regional Advantage: Culture and Competition in Silicon Valley and Route 128*, Harvard University Press, 1994)。
- ジェイコブズ, J. (中村達也訳) [2012] 『発展する地域 衰退する地域——地域が自立するための経済学』筑摩書房 (J. Jacobs, *Cities and the Wealth of Nations: Principles of Economic Life*, Vintage Books, 1985)。
- 福嶋路 [2015] 『ハイテク・クラスターの形成とローカル・イニシアティブ——テキサス州オースティンの奇跡はなぜ起こったのか』白桃書房。
- フロリダ, R. (井口典夫訳) [2014] 『新クリエイティブ資本論——才能 (タレント) が経済と都市の主役となる』ダイヤモンド社。
- ヘントン, D. = メルビル, J. = ウォレシュ, K. (加藤敏春訳) [1997] 『市民起業家——新しい経済コミュニティの構築』日本経済評論社。
- ポーター, M. E. = クラマー, M. [2011] 「共通価値の戦略——経済的価値と社会的価値を同時実現する」『DIAMOND ハーバード・ビジネス・レビュー』第 36 巻第 6 号, 8-13 頁 (M. E. Porter and M. R. Kramer, “Creating shared value: How to reinvent capitalism - and unleash a wave of innovation and growth,” *Harvard Business Review*, vol. 89, no. 1-2, pp. 62-77, 2011)。
- マーシャル, A. (永澤越郎訳) [1985] 『経済学原理 2』岩波ブックセンター信山社 (A. Marshall, *Principles of Economics: An Introductory Volume (8th ed.)*, Macmillan, 1920)。
- モレッティ, E. (池村千秋訳) [2014] 『年収は「住むところ」で決まる——雇用とイノベーションの都市経済学』プレジデント社 (E. Moretti, *The New Geography of Jobs*, Houghton Mifflin Harcourt, 2012)。

第 13 章

- Anderson, S. [2018] “Immigrants and billion-dollar companies,” NFAP (National Foundation for American Policy) Policy Brief (<https://www.immigrationresearch.org/system/files/2018-BILLION-DOLLAR-STARTUPS.NFAP-Policy-Brief.2018.pdf>) .
- Canadian Trade Commissioner Service, “Canadian Technology Accelerators” (<https://www.tradecommissioner.gc.ca/cta-atc/index.aspx?lang=eng>) .
- Joint Venture Silicon Valley [2018] “2018 Silicon Valley index” (<https://jointventure.org/images/stories/pdf/index2018.pdf>) .

Joint Venture Silicon Valley [2023]“2023 Silicon Valley index” (<https://jointventure.org/images/stories/pdf/index2023.pdf>) .

Oettl, A., and Agrawal, A. [2008] “International labor mobility and knowledge flow externalities,” *Journal of International Business Studies*, vol. 39, no. 8, pp. 1242-1260.

Rouse, R. [1992] “Making sense of settlement: Class transformation, cultural struggle, and transnationalism among Mexican migrants in the United States,” *Annals of the New York Academy of Sciences*, vol. 645, no. 1, pp. 25-52.

『TEDx Talks』 2018 年 12 月 20 日, 「宇宙のゴミを減らすために Reducing Space Debris, Miki Ito, TEDxKyoto」 (<https://www.youtube.com/watch?v=gZfjyZbKscY>).

アストロスケール (<https://astroScale.com/ja/>).

大井裕貴 [2021] 「日本におけるスタートアップビザとは？」『地域・分析レポート』(JETRO 海外ビジネス情報, <https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2021/d802202dd86e2df0.html>).

川上桃子 [2019] 『シリコンバレー志向型政策』の展開——台湾の事例 木村公一朗編『東アジアのイノベーション——企業成長を支え、起業を生む〈エコシステム〉』作品社, 60-90 頁。

北野健太 [2017] 「起業ブームに沸く中国において IT ものづくりで進化する深圳」『RIM 環太平洋ビジネス情報』第 17 巻第 64 号, 25-45 頁。

『国別労働トピック』 2019 年 11 月 12 日, 「中国人留学生の帰国と就職戦線に変化」(労働政策研究・研修機構 海外労働情報, https://www.jil.go.jp/foreign/jihou/2019/11/china_02.html).

サクセニアン, AL. (星野岳穂・本山康之監訳, 酒井泰介訳) [2008] 『最新・経済地理学——グローバル経済と地域の優位性』日経 BP 社。

テラモーターズ (<https://terramotors.co.jp/>).

遠山浩 [2018] 「イノベーション創出都市——変貌する深圳」『専修大学社会科学研究所月報』第 665 号, 1-37 頁。

中村久人 [2013] 『ボーングローバル企業の経営理論——新しい国際的ベンチャー・中小企業の出現』八千代出版。

西口敏宏・辻田素子 [2016] 『コミュニティー・キャピタル——中国・温州企業家ネットワークの繁栄と限界』有斐閣。

『日経 MJ (流通新聞)』 2013 年 4 月 14 日, 16 面「創業 3 年『テラモーターズ』快走——電動バイク地方の足に」。

『日経産業新聞』 2002 年 1 月 30 日, 32 面「デジタル中国 (3) 大陸“脳力流”脈々と——政府, 受け皿 準備」。

『日経産業新聞』 2013 年 3 月 19 日, 1 面「産業再興 ものづくり+ α (4) 電動バイクのテラ, 最初から新興国——世界企業へ先手必勝」。

『日経産業新聞』 2015 年 3 月 27 日, 1 面「始動 大気圏外クリーン計画 (上) 宇宙ごみ 掃除せよ——シンガポール発 日の丸 VB」。

『日経産業新聞』 2015 年 11 月 13 日, 2 面「三輪 EV アジア疾走——フィリピンやインド, 日本の VB 攻勢」。

『日経産業新聞』 2017 年 1 月 24 日, 5 面「(我が社の海外戦略) テラモーターズ アジアで電動バイク——学生に人気, 社員教育注力」。

『日経産業新聞』 2017 年 3 月 30 日, 27 面「(VB 経営 A to Z) 新興国での日系企業の戦い方——無形資産生かし行動を」。

- 『日経産業新聞』2017年4月27日, 20面「開拓者 日本ポリグル小田兼利会長 飲み水浄化 経済も潤す——途上国の300万人に恩恵」。
- 『日経産業新聞』2018年3月12日, 3面「Next CAR に挑む 攻防・電動化 (3) スタートアップもEV参戦——十人十色 割り切り勝負」。
- 『日経産業新聞』2018年7月13日, 14面「米国での起業支える TiE——団体創設者レキ氏」。
- 『日本経済新聞』2015年10月8日, 9面「シリコンバレー沸く (中) 移民, 30分に1人——国あげて人脈作り競う」。
- 『日本経済新聞』2017年12月4日, 9面「NEXT ユニコーン 有力スタートアップ108社調査——起業時に世界視野 4割超」。
- 『日本経済新聞』2018年3月6日夕刊 (大阪), 29面「水浄化 途上国を支える——日本ポリグル会長小田兼利さん (もっと関西)」。
- 『日本経済新聞』2019年7月12日, 19面「エストニア電子政府特集——電子立国 ヒントここに」。
- 『日本経済新聞』2019年9月2日, 2面「外国人留学生の起業支援——政府, 法案提出へ 特区でビザ緩和」。
- 『日本経済新聞』2019年11月17日, 2面「(未踏に挑む) アジア発, 世界で革新——クラブ共同創業者 タン・ファイリン氏」。
- 『日本経済新聞』2022年6月2日, 5面「革新人材 国が争奪戦」。
- 日本ポリグル (<https://poly-glu.com>)。
- 播磨亜希 [2019] 「トランスナショナル創業——国境を越える起業家の役割と課題」『日本政策金融公庫論集』第45号, 35-58頁。
- 福嶋路 [2019] 「大学の起業家育成——シンガポール国立大学の事例」木村公一朗編『東アジアのイノベーション——企業成長を支え, 起業を生む (エコシステム)』作品社, 37-59頁。
- 村上由紀子 [2015] 『人材の国際移動とイノベーション』NTT出版。